

平成 28 年 1 月 21 日

地域農業の発展を通じた地域活性化に向けた業務協力について

株式会社 みなと銀行
みなとキャピタル 株式会社
西日本旅客鉄道 株式会社
株式会社 ファーム・アライアンス・マネジメント

株式会社 みなと銀行（以下、みなと銀行）とみなとキャピタル 株式会社（以下、みなとキャピタル）は、農業の発展による地域の経済・産業振興を目的に、西日本旅客鉄道 株式会社（以下、JR 西日本）及び同社が資本参加の株式会社 ファーム・アライアンス・マネジメント（以下、ファームアライアンス）と業務協力に関する協定を締結しましたので、お知らせいたします。

尚、近畿地区の地方銀行と JR 西日本が、農業分野における業務協力に関して協定を締結するのは、今回が初めてとなります。

記

1. 協定締結の目的

みなと銀行グループは、農林漁業の振興による地域経済の活性化の観点から、これまで農林漁業ファンドを通じた金融支援やグループのネットワークを活かしたビジネスマッチング等を通じて、同分野に関わる幅広い事業者の支援に取り組んできました。

JR 西日本グループは、「JR 西日本グループ中期経営計画 2017」において掲げた「地域共生企業」となるべく、地域の産業振興につながり、定住に寄与する事業の一つとして農業に着目しました。平成 26 年 4 月には、生産管理など IT 技術を活用し、生産者の経済性及び競争力の向上に資する、生産者に対する国際的認証規格グローバル GAP の取得支援とそれらの農産物の流通ルートへの提供を行うファームアライアンスへ資本参加し、当該事業の普及に取り組んでいます。

今後、地域振興への取り組み趣旨が一致する 4 社は、相互の協力関係を強化し、各社のネットワークや情報を有効に活用することで、地方創生に資する地域農業の発展に貢献してまいります。

2. 主な業務協力事項

- (1) 生産者の経済性及び競争力の向上を目的とした農業セミナー・商談会の共同開催
- (2) 生産技術や販路拡大を希望する生産者等の個別紹介
- (3) 農業への新規参入や農業経営の相談等、生産者支援に係わる連携

3. 今後の主な取り組み

- (1) みなと銀行グループが持つ情報と JR 西日本のネットワークとファーム・アライアンスの情報や生産管理技術などを融合させ、「みなと A ファンド」等を通じて、当該分野の資金供給に努めてまいります。
- (2) 生産者などを対象とした農業セミナーや商談会を平成 28 年 3 月に共同開催。
- (3) ファームアライアンスによる、みなと銀行とみなとキャピタルに対する農業分野にかかるアドバイザー活動。

以 上

《お問い合わせ先》

株式会社みなと銀行	企画部 広報室	TEL:078-333-3247
みなとキャピタル株式会社	総務部	TEL:078-577-2811
西日本旅客鉄道株式会社	広報部（報道）	TEL:06-6375-8889
株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント	総務部	TEL:03-3265-5090

■各社の概要■

	1. JR西日本	2. ファームアライアンス
(1) 商号	西日本旅客鉄道株式会社	株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント
(2) 所在地	大阪府大阪市北区芝田2-4-24	東京都千代田区九段南3-4-5
(3) 代表者	代表取締役社長 真鍋 精志	代表取締役社長 松本 武
(4) 資本金	1,000億円	94百万円
(5) 設立年月	昭和62年4月	平成24年3月
(6) 主な事業内容	運輸業、流通業、不動産業、その他	農産物の国際認証規格グローバルGAPの認証取得のためのシステムサービス供与、環境整備及び教育、農産物の卸売等
	3. みなと銀行	4. みなとキャピタル
(1) 商号	株式会社みなと銀行	みなとキャピタル株式会社
(2) 所在地	兵庫県神戸市中央区三宮町2-1-1	兵庫県神戸市兵庫区水木通1-4-7
(3) 代表者	取締役頭取 尾野 俊二	代表取締役 庵原 敬吾
(4) 資本金	274億円	2.5億円
(5) 設立年月	昭和24年9月	平成12年6月
(6) 主な事業内容	銀行業務	投資業務、経営相談、コンサルティング業務

■「グローバルGAPとは」■

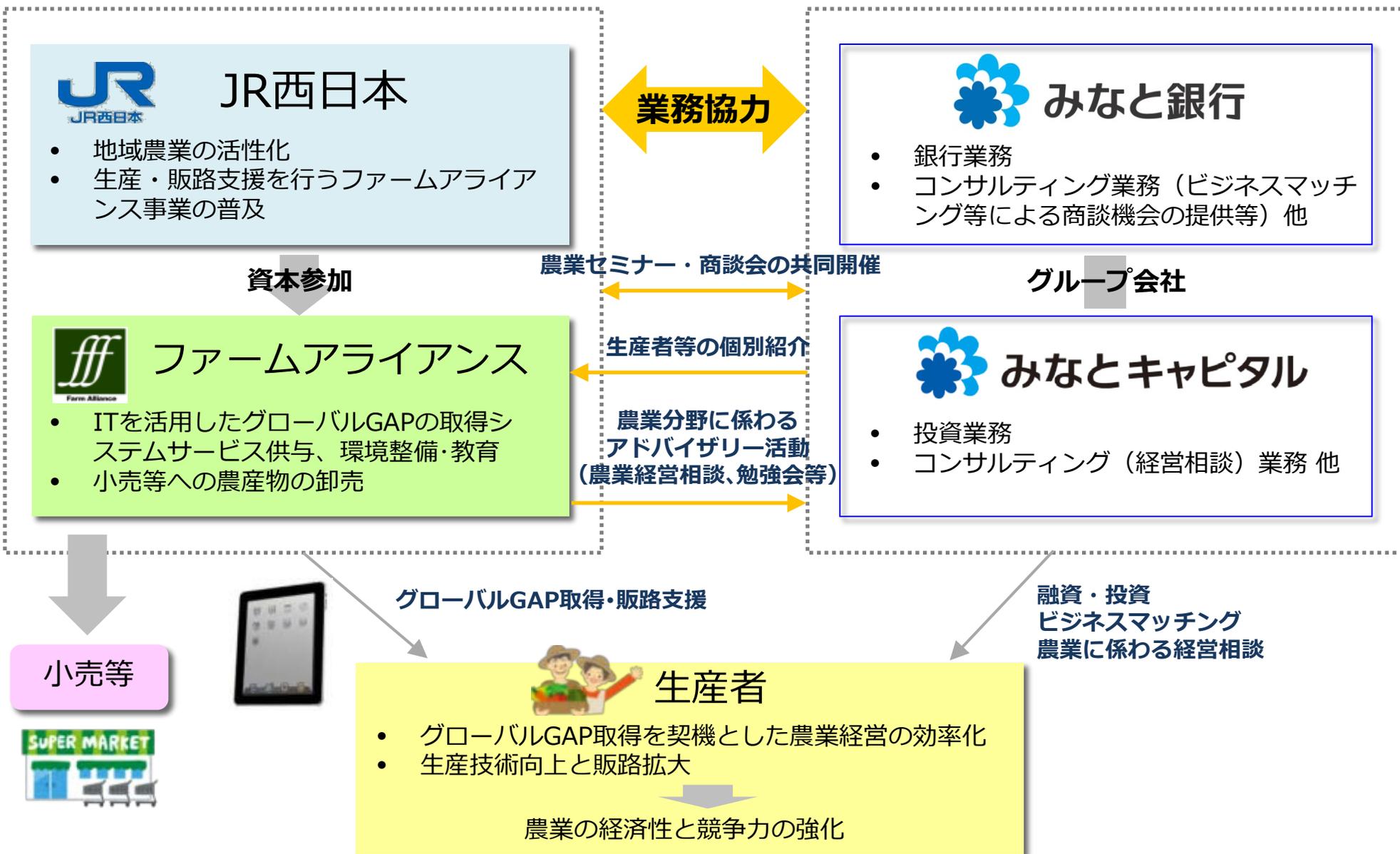
グローバル GAP は、欧州を中心に世界 100 カ国以上で実践されている GAP (Good Agricultural Practice: 適正農業規範) の世界標準です。グローバル GAP では、農業生産・取り扱いにおける農産物の安全管理手法や労働安全、持続可能な農業に資する環境保全型農業実践のためのチェック項目が具体的に定められています。農産物の世界的な流通においては、もはやグローバル GAP の認定取得が取引条件となっており、サプライヤーとして「選ばれる」ための必須要件として求められています。

欧米では、事業リスクを最小化することが小売事業者の標準的な動きとなっています。特に、小売業売上高世界ランキングのトップ10にあるような量販店は、国際的な認証規格(例: グローバル GAP 等)を取得しているサプライヤーや生産者からの仕入を優先しており、自らの販売チャンネルにおいてリスク・ヘッジできない農産物の取り扱いを排除し始めています。

グローバル GAP は 2011 年に改訂され、農産物の集出荷・選果場の管理範囲が審査の必須要件となり、農場から出荷までを網羅したサプライチェーン全体におけるマネジメントシステムを評価する事により食品安全リスクを包括的に担保するようになりました。

日本での認証取得実績は未だ少なく、規模だけでなく、農産物の安全管理も途上段階であり、中国、韓国、東南アジア諸国と比較しても、日本におけるこの分野での取り組みが期待されています。

業務協力のイメージ



参加
無料

アグリ ビジネスセミナー 2016

昨年のTPP大筋合意を受け、一層注目される日本の農業。その「農業」および日本の「食」が抱える問題の解決に向けた取り組みや今後の成長可能性を中心にセミナーを開催いたします。

また、兵庫県内の生産者の方をはじめ、農林漁業分野に関連する2次・3次事業者の方との商談や交流の場も設けさせていただきます。貴重な機会ですので、農林漁業関連ビジネスに少しでも関心がある方は、ぜひご参加ください。

セミナー開催概要

日時 平成28年3月3日(木) 14:00~18:00 (13:30受付開始)

内容 【第1部】 講演(テーマは予定)(14:00開始予定)

①「国家戦略特区・養父市の挑戦」

講師:養父市副市長 三野 昌二 氏

②「世界がライバル、日本の農業」~知らないでは済まされない世界の事情~

講師:株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント 代表取締役 松本 武 氏

③「JR西日本の農業関連事業の取り組み」

講師:西日本旅客鉄道株式会社 創造本部 ビジネスプロデュースグループ 課長 鰐淵 広一郎 氏

【第2部】 展示会・交流会・商談会(16:10開始予定)

兵庫県内の生産者の方、農林漁業分野に関連する2次・3次事業者の方を中心に、展示ブースを出展いただきます。また、出展者の方との商談や交流、参加者同士の交流の場を設けさせていただきます。

会場 ザ マーカスクエア 神戸 (神戸ハーバーランドホテルクラウンパレス神戸内) 場所は裏面をご覧ください

対象 農林漁業関連ビジネスに少しでも関心がある方

定員 120名(先着順)

締切 平成28年2月29日(月) お申し込み方法は裏面をご覧ください

主催 株式会社みなと銀行、みなとキャピタル株式会社、
西日本旅客鉄道株式会社、株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント

後援 養父市、株式会社日本政策金融公庫 神戸支店、公益財団法人ひょうご産業活性化センター

「アグリビジネスセミナー2016」参加申込書

必要事項をご記入のうえ、①みなと銀行の窓口にお渡しいただくか、②FAXでお申込みください。

FAX 078-331-8331 (みなと銀行 地域戦略部 あて)

貴社名 (個人の方は氏名)	フリガナ	みなと銀行とのお取引	有 ・ 無	
		お取引店(お取引がある場合)	支店	
ご住所	〒			
ご連絡先	TEL	FAX		
E-Mail				
ご参加者名	フリガナ	所属・役職		2部のみ ※
ご参加者名	フリガナ	所属・役職		2部のみ ※
ご参加者名	フリガナ	所属・役職		2部のみ ※

※第2部のみ参加される方は「2部のみ」に○印を記入して下さい

個人・企業情報の取扱いについて

ご応募の際にお伺いする個人情報は、主催者からの情報の配信及び問合せへの回答といった連絡と本事業の円滑な遂行及び改善のための分析に利用します。収集した情報については、法令に基づく開示請求があった場合、ご本人の同意があった場合、その他特別の理由があった場合を除き、第三者には提供いたしません。ご提供いただいた個人情報をご正確に処理するよう努めます。

お問い合わせ先

(株)みなと銀行 地域戦略部

TEL 078-333-3235

【担当:太畑(オオハタ)】

セミナー会場マップ

ザ マーカスクエア神戸

(神戸ハーバーランドホテルクラウンパレス神戸内)

住所:神戸市中央区東川崎町1-3-5

TEL:078-367-1356

